

http://www.minamih.net/



離婚して子育てをしながら37歳で通訳を目指し、国際会議などの同時通訳として活躍している会議・放送通訳者 篠田颯子さんのお話です。

8月30日(木)朝日新聞 夕刊

“人生の贈りもの”より

甘えを捨て、失敗から学び続けた

あるベンチャー企業の社長の通訳の際、彼がこんなことを言っていました。

「Failing (失敗) と Losing (敗北)

12・9・1(土)南NEWS NO33

は違う。失敗は、そこから学べば良い。成功のもとになる。しかし、敗北は違う。敗北は失敗から学ばずに同じモードで続けた結果だから」と。

なんでも、アフターケアが必要です。こんな英語の格言もあります。

「幸運とは準備する者の上に降り立つ

(Luck is where

preparation meets opportunity.)」。

私自身の実体験でもあります。若い人に私は伝えたい。諦めずに学び続けるのです。

6年生、しっかり読んでくださいね。ぜひ、他の学年のお家の方もお子さんと読んでくださいね。

2012.7.16 むさしの5年生 緑が丘小

○めあて 「仲間が持ったら周りが走る」

「自陣からでも大きく蹴ることなく攻め上がる」

○南 2-4 富士見(前半2-0) 負け 得点 斎藤君、斎藤君

○南 0-3 油面 (前半0-2) 負け

○南 9-2 本宿 (前半2-0) 勝ち

得点 山本君(2)、西沢君、永末君(2)、工藤君(2)、福岡君、米倉君

5年生が今取り組んでいる全員サッカー、そのために「仲間が持ったら周りが走る」、「自陣からでも大きく蹴ることなく攻め上がる」というプレーを、猛暑の中皆で頑張りました。

1試合目、MF真中で体を入れながら厳しく相手ボールを取った斎藤君を起点に、斎藤君のミドルシュートが決まります。2点目は工藤君が持った時しっかり動き出した永末君がクロスを入れ、これも斎藤君が決めました。まだディフェンスの練習に時間をかけていないため、攻め込まれることの多いチームですが、キーパー望月君が何度も好セーブをしてくれました。



2試合目、「ドリブルを増やそう」という声かけの中、工藤君、永末君、福岡君、永沢君がどンドンドリブルで仕掛けます。発展途上のチームですので、ちぐはぐに

なりますが、それでも周りが走ることをやめず、ベンチの選手を含めて最後まで声をかけ合うことができた試合、暑い中、MFで走り続けた福岡君の体力と、相手のゴール隅への強烈なシュートを片手で跳ね返した気仙君のキーパーも見事でした。

3試合目、サイドバック気仙君を起点としてMFの西沢君から永末君がクロスを上げ、山本君がシュート、その後山本君がドリブルからシュートを決めます。8分に仲居君がBKとキーパーの間に入れたクロスで西沢君と気仙君が押し込んだ2点目は、まさにこれから狙っていこうとしているプレーでした。

後半の1点目を永末君が決めた後、2点目は、工藤君がプルバックまで持ち込み、山本君がニアに走りこんで決めました。シュート練習で何度も繰り返している形が出ました。

その後もドリブルで仕掛けますが、ボールをもった瞬間に顔を上げる意識も多く見られ、走ってくれる仲間との連携からの得点がたくさん生まれました。サイドバック仲居君からMF斎藤君、福岡君を経て永末君が3点目を決め、斎藤君のプルバックから工藤君が決めて4点目、サイドバックからのボールを受けた福岡君がキープを抜いて5点目、斎藤君から受けた工藤君がドリブルで持ち込み6点目、そして、サイドバック仲居君が苦しい中、出したボールを受けた福岡君が相手一人をかわしてハーフから独走、そこにしっかり並走した米蔵君がラストパスを受けてシュートを決めました。

「仲間が持ったら周りが走る」

単なるパスではなく、走ってくれた仲間を使って自分が生きる。そういう全員サッカーを目指しています。

猛暑の3試合目の終盤にもかかわらず、独走する仲間の横を、やめることなく、しっかり並走していた米蔵君だからこそ、信頼したパスがつながった素晴らしいシュートでした。

by 伊藤コーチ

むさしの最終試合 8月26日(日) 青梅一小

○南 3-1 青梅(前2-0)勝ち

○フレンドリー

南 4-1 青梅(前4-0)勝ち

・15分だけ

南 1-0 青梅FC 勝ち

暑い中、8人だけでしたが、皆よく走りました。青梅は4年生と5年生混合のようでした。 詳細は後日 by 伊藤コーチ